

川のえ 料理教室(第3回)

- 日時** 令和6年1月12日(金) 10:00~
- 対象** どなたでも参加できます
- 参加費** 500円 ※初めて参加される方は600円(調味料代としての100円を含みます)
- 定員** 毎回12名(人数は制限があります。材料購入の都合上、開講日の1週間前までに参加連絡が必要です)
- 締切日** 12月25日(定員になり次第締め切りとなります。)
- 形式** みんなで調理後食事をします
- 持ち物** 米1合、持ち帰り用容器、エプロン

りんぽかん 川のえ隣保館だより

ねん がつはっこうごう
2023年12月発行号



人権週間 12月4日~10日

昭和23年12月10日「世界人権宣言」が採択されました。採択日である12月10日は「人権デー」と定められ、昭和24年より人権デーを最終日とする1週間が「人権週間」となり、全国的に人権啓発活動を強化して行っています。

「自分らしく生きる」権利は、一人ひとりが生まれた時から持っているのです。本来、この権利は、周りの人と比べたり、他人が侵せる権利ではないはずですが、それは、自分自身が自分の思うように生きる権利なのですから。みんな違って当たり前で、その違いも一人ひとりの個性です。したがって、人と異なるところが、その人の長所で、伸ばすべきところかもしれません。

しかし、その権利は様々な要因によって脅かされたり、侵害・差別によって認められない場合があります。例えば「多数派であれば正しい」という基準で人格や考え方を評価したり、優劣によって判断することがその要因となっているのです。

近年、特にLGBTの問題など少数派で生きづらさを抱えて来た人への関心が高まり、法律化されて理解を深めていく世の中になってきています。

その一方で、同和問題をはじめとする人権問題が多くあります。最近ではインターネットでの誹謗中傷など、情報の拡散スピードが早く、早急な解決が必要です。

人権週間のこの機会に、ご自身やご家庭で、人と比べる前に、自分自身のどこが好きか、自分の良い所はどこかと自分に目を向けたり、家族それぞれの良い所を話し合ったりすれば良いと思います。この一週間、自分や相手を認め合い、それぞれが大切な存在であることを再確認するきっかけにしましょう。

識字学級「クリスマス会」開催

- 日時** 令和5年12月3日(日) 11:00~14:00
- 場所** 川のえりんぽかん
- 内容** ①食文化による交流 ②その他
(日本及び各国の料理) ・カラオケ・ビンゴ大会

子ども会「クリスマス会」開催

今年はやります! 年末恒例、子ども会「クリスマス会」。子どもが喜び子どもがクリスマスを満喫できる楽しい企画盛り沢山です!

- ★とき 令和5年12月17日(日) 9:00~12:00
- ★ところ 川のえりんぽかん

- 本のおはなし会
- ~体験~ ○クリスマスケーキ作り ○リース作り
- ビンゴ
- サンタさんからのプレゼント

がつ かわのえりんぽかん ぎょうじよてい
12月 川之江隣保館 行事予定

じょうきょう よてい へんこう
 状況により、予定が変更されることがあります。

日(にちようび)	月(げつようび)	火(かようび)	水(すいようび)	木(もくようび)	金(きんようび)	土(どようび)
					1 ・ふれあい料理教室	2 ・識字学級 クリスマス会準備のため使用できません
3 識字学級 クリスマス会	4 ・貯筋体操(ひまわり) ・健康体操(山根会)	5 ・太極拳	6 ・貯筋体操(スイトビ)	7	8	9 ・卓球クラブ
10	11 ・貯筋体操(ひまわり) ・健康体操(山根会)	12 ・太極拳	13 ・貯筋体操(スイトビ)	14	15 クリスマス会準備のため使用できません	16 休日開館日 クリスマス会準備のため使用できません
17 子ども会 クリスマス会	18 ・貯筋体操(ひまわり) ・健康体操(山根会)	19 ・太極拳	20 ・貯筋体操(スイトビ)	21	22 ・キャッチボール	23 休日開館日 ・卓球クラブ
24 休日開館日 ・生命尊重読書会	25 ・健康体操(山根会)	26	27 ・貯筋体操(スイトビ)	28	29 休館日	30 休館日
31 休館日	1/1 休館日	1/2 休館日	1/3 休館日	1/4	1/5	1/6

ジェンダーバイアス

ジェンダーバイアス…人や社会が無意識のうちに、性差や男女の役割、性的マイノリティなどの人々について、固定的な思い込みや偏見を持つことです。

今の社会では、女性は男性よりもジェンダーバイアスの影響を受けやすいといわれています。それは、男性が女性よりも優位であるという偏見から男性が優遇措置を受けることが多いからです。ジェンダーバイアスに気付かずにいることは、相手を傷付けたり、自分自身を大切にできなったり、キャリアに影響を及ぼしたりなど様々な影響があります。過去を振り返ってみると、学校教育や家庭生活による刷り込みによって、ジェンダーバイアスが生じ、当たり前前に性差の意識がありました。最近その意識も徐々に変わりつつあり、職業においても性差がなくなっているよう思う一方で、男女あるいはその他と目線を変えると必ずしもその状況が変わっていないように思います。

最近AI(人工知能)での回答がインターネット上の様々な場面で活躍しています。ニュースで「チャットGPT」による、職業における回答の傾向が、飛行士を男性的、看護師を女性的と捉えることがあり、AI(人工知能)においても性差が見られるという話題がありました。

客観的であるはずのAI(人工知能)において、その性差が残っているというのが驚きであり、興味深かったです。作り手による無意識のプログラムかもしれませんが、それだけ、過去からの学校教育や家庭生活による影響などで、思い込みや偏見・先入観が根深かったのだらうと思います。

今は、男女の性差だけでなくLGBTなどの問題もそこに絡んで多様化しており、今一度、主観的な固定観念を捨て、この問題を考え直してもいいのかもしれない。

悩んでいることはありませんか？

隣保館は、いつでも人権に関わる悩みを相談できる窓口です。「職場でのハラスメント」

「職場や学校に行けない」など何でも相談してください。

また、ハローワークの職業相談は、電話による予約制となっています。

川之江隣保館 TEL・FAX 28-6254